

〈研究ノート〉

中国語における助詞「了」をめぐって

張 燕妹

Abstract

助詞「了」は現代中国語において使用頻度が最も高く、用法が最も複雑で同時に日本人の中国語学習者にとって用法を習得することが難しく、しばしば悩ませる。中国語の「了」は、日本語訳で過去の意味になる場合でも、「過去形」の用法とは言えない。「了」を使ったから必ずしも過去を表すものであるとは限らないし、未来における実現・完了においても使用可能である。また過去であっても「了」を使用しないケースも非常に多い。

完了・実現した動作を表すアスペクト助詞「了」と、変化を表す語気助詞「了」、大きく分けると、この二分類することができる。本稿は日本語の観点から「了」についてアプローチし、「了」の前後に隠れているヒントを探していくことを検討したい。

キーワード：助詞 了 アスペクト 語気

1. はじめに

国連の公用語でもある中国語は中国だけでなく、台湾、シンガポール等の国や地域で公用語として使用されており、使用人口はそれだけで13億を超える。その他、世界各国の華僑や華人の間でも話されており、俗に「世界の5人に1人は中国語を話す」と言われるように世界中で最も使用人口の多い言語でもある。

日本における中国語教育の歴史は古く、江戸時代には中国との交易のために長崎に設けられた「唐通事」によって中国語が学ばれ、また5代将軍綱吉の時代には黄檗宗との関係で江戸城内でも中国語学習会が催されたことがあった。その後、明治以降は特に民間講習会を中心に中国語教育が展開され、戦後、特に日中国交回復後は中国語ブームが巻き起こったりもした。

1990年代半ば以降の中国の急速な経済発展などを背景として、日本国内において中国語を学習する人口が急増している。大学教育の場においても第二外国語として中国語を選択する学生が急増しており、一種の「中国語ブーム」、「中国語の大衆化」が起きているというのが今日の中国語をめぐるといえる。

平成9年度の大学入試センター試験（1997年1月実施）において共通一次試験開始以来、初めて外国語科目の見直しがされ、アジアの言語を代表する形で中国語が選択肢として加わることとなった¹。

これは従来、英語、ドイツ語、フランス語という西洋の三言語のみに限られていた外国語教育の偏向を是正するものとして歓迎すべき措置であった。もちろん、文部省（当時）のこの判断の背景には、全国の高等学校で教育されている外国語教育の現状が反映していることは見逃せない。（財）国際文化フォーラムの詳細な調査報告『いま高校の中国語教育を問い直す：外国語教育が直面する課題と提言』（1996年4月）によると、中国語教育の実施校数は1994年時点ですでに150校を越えており、フランス語実施校を遙か

に上回っている。高等学校の教育現場にあっても中国語は英語に次ぐ外国語となっているのである²。

直近の令和4年度（令和4年1月16日17日実施）大学入学共通テストの外国語の受験者数をみると、英語（リーディング）の受験者は481,754人が圧倒的に多いに対して、次いで多いのは中国語の605人であった。その次は韓国語124人、ドイツ語110人、フランス語102人の順であった。

表1 令和4年度大学入試共通テスト外国語の受験状況

(6) 外国語（リーディング／筆記）の受験状況

区分	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	計
受験者数	481,754人	110人	102人	605人	124人	482,695人
科目選択率	99.81%	0.02%	0.02%	0.13%	0.03%	

(注) 科目選択率＝各科目受験者数／外国語（リーディング／筆記）受験者数×100

引用：令和4年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書（本試験）-実施結果の概要、P.8

(https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/kako_shiken_jouhou/r4/r4_jisshikekka/r4_hyouka_honshiken/r4_hyoukahoukokusho_honshiken.html)

本稿は中国語の学習にあたって、度々学習者を悩ませるもの No.1 と言っても過言ではないの「了」についてまとめることにした。

「了」は「多音字」（1つの漢字に対し、2つの発音があるもの）であるため、「了」は“le”と“liǎo”の発音があり、今回、助詞としての「了（le）」を注目することにした。

助詞「了」の用法について、辞書や文法書では大きく2つの使い方があるとして、①「アスペクト助詞の“了”、文中で完了・実現を表すもの」②「語気助詞の“了”、文末で変化を表すもの」と一般的に解釈されている。また、研究論文にも様々な見解がある。ところが、教える側では日本語を母国語とする学習者にどのように教えれば効果的なのかを考えなければならない。

そこで日本語の観点から「了」についてアプローチし、「文中」/「文末」における「了」だけを注目するのではなく、「了」の前後にヒントを探ることが出来るかどうかを考えることにしたい。

2. 漢字の成り立ち

「了」の漢字は春秋戦国時代後期に造られ、本来の意味は不詳である。「百度漢語（Baidu 汉语）」³によると、「了」は「子字无臂，表示断、绝断，结束。」つまり、「子」という字の両手がなく、断つ、断絶、終わると意味する。漢字の成り立ちから見てみると、「象形」文字であり、一説は「象形」文字兼「会意」文字である。「手足をくるまれた(巻くようにして包んだ)乳児」の象形から、「くるめる」の意味を表し、そこから、「1つの事

柄がおわる」、「終了」を意味する。現代における解釈は「助詞」として使われ、「動詞」或いは「形容詞」の後に置き、「完成」の意味を表す。

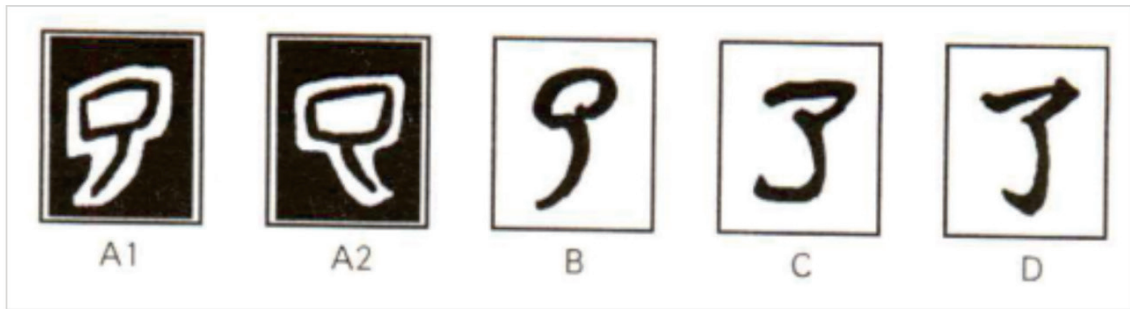


図1 “了”的汉字演变图（漢字の字形の変化）

引用：「百度百科（Baidu 百科）」

(<https://baike.baidu.com/item/%E4%BA%86/341748?fr=aladdin>)

3. 辞書による解釈

3. 1 中国語の辞書『現代漢語詞典』による解釈

中国語の辞書『現代漢語詞典』（第7版、中国社会科学院语言研究所词典编辑室編、商务印书馆、2016年）には、「了（le）」について、「助詞」として、二つの解釈がある。

表2 『現代漢語詞典』による「了」の解釈

		用 例	日本語訳
① 動詞また形容詞の後、動作の完了・実現または変化を表す。	a) 実際に起きたことまたは変化を用いる。	这个小组受到了表扬。	このグループが表彰された。
		水位已经低了兩米。	水位が2メートル下がった。
	b) 予期される動作（未来の動作）の時に使う。	你先去，我下了班就去。	あなたが先に行って、私が仕事終わったらすぐ行く。
		他要知道了这个消息，一定也很高兴。	彼はこの知らせを知っていたら、きっと喜ぶ。
② 文の最後または文の途中に一時停止がある場所、状況の変化または新しい状況を表す。	a) すでに表れた或いはこれからの状況の変化を表す。	下雨了。	雨が降ってきた。
		春天了，桃花都开了。	春が来た、桃の花が咲き始めた。
		他吃了饭了。	彼はご飯を食べた。
		天快黑了，今天去不成了。	もうすぐ暗くなるから、今日は行くことができない。

b)ある条件のもとに状況の変化を表す。	天一下雨，我就不出门了。	雨が降ってきたら、私は出かけない。
	你早来一天就见着他了。	あなたが一日早く来たら、彼に会うことができた。
c)承知、主張の変化を表す	我现在明白他的意思了。	彼の言いたいことが今になって分かった。
	他本来不想去，后来还是去了。	彼は元々行きたくなかったが、結局行った。
d)促すまたは説得を表す	走了，走了，不能再等了。	行こう行こう、もう待ってられない。
	好了，不要老说这些事了。	いいよ、このことを言うのをやめよう。

『現代汉语词典』（第7版、中国社会科学院语言研究所词典编辑室編、商务印书馆、2016年、788頁）

3. 2 日本語の辞書『中日大辞典』による解釈

日本語の辞書『中日大辞典』（増訂第二版、愛知大学・中日大辞典編纂処編、大修館書店、1994年）では、「了（le）」について、このような解釈である。

表3 『中日大辞典』による「了」の解釈

	用 例	日本語訳
①……した。 ……したら……。 ……してから……。 動詞あるいは一部の 形容詞に後置され て、動作や状態の完 成を表す。	他来了。	彼はきた。 彼は来た（そしていまも来ている。）
	他来了又走了。	彼は来てまた出て行った。
	他来了我和他说。	彼が来たらわたしが彼と話をしよう（相談しよう）。
	等他来了再说吧。	彼が来てからのことにしよう。
	吃了饭就去。	飯を食べたらすぐ行く。
	我刚吃了饭还不饿呢。	わたしはいましたがた飯を食べたばかりで、まだひもじくないんです。 （私はご飯を食べたばかりですがまだお腹が空かない。） ⁴
	念了三年英文。	英語を3年間やった。
	长大了。	生長して大きくなった。
②……である。 ……だ。 断定・決定を表す。	病好了。	病気はよくなった。
	那就不用说了。	それはもちろんである。 （それなら言わなくてもいい。） ⁵
	再好没有了。	それ以上よいものはない。

	这就难怪了。	それじゃむりもない。
	对了, 好极了。	そうだ, それは至極いい。
	这么沉, 也就够你一个人拿的了。	こんなに重くちゃ、これでもうきみが一人で持つくらいの重さはあるよ。
	我想他是不会来了。	彼は来っこないと思う。
③せよ。してください。 命令あるいは願望の意を表す。	别提了。	その話はよせ! (じょうだんじゃないぞ)
	饶了我吧。	お許してください。
	把那五分的零儿抹了去吧。	その5銭のはしたはまけてくれよ。
④ 一部の単音詞の後に置かれて複音詞化することによって、次に続く詞との関係をきわだたせる。	为了实现世界和平……	世界の平和を実現させるために……
	你快拿了去吧。	おまえはやく持って行きなさい。
	我把他送了去吧。	わたしが彼を送って行きましょう。
⑤やら.....やら。.....だとか.....だとか。事物を列挙する時に用いる。	手绢儿了, 香烟了, 都带上了吗?	ハンカチとかタバコとかみな持ちましたか。

『中日大辞典』(増訂第二版、愛知大学・中日大辞典編纂処編、大修館書店、1994年、1109頁)

4. 東京外国語大学言語モジュールによる解釈

東京外国語大学言語モジュールには、「了 (le)」について、4つのステップを分けられており、①アスペクト助詞の「了」、②語気助詞の「了」、③「了」と数量表現、④近接未来の表現、と解説している。

表4 東京外国語大学言語モジュールによる解釈

		用 例	日本語訳	
①アスペクト助詞の「了」	動詞の直後に、アスペクトマーカ―としてアスペクト助詞の「了」をつけると、「～した」という動作が実現した意味を表す。	日本語の訳ではたまたま「～した」に該当することが多いであるが、テンスの概念としての過去形ではない。	我昨天买了一本词典。	私は昨日辞書を1冊買いました。
			上星期六我们看了一个外国电影。	先週の土曜日私たちは外国映画を見ました。
			我回家后给他写了一封信。	私は家に帰ってから彼に手紙を一通書きました。
		未来の出来事でも「了」を使うことが可能である。	明天下了课, 我去找你。	明日授業が終わったら私はあなたを訪ねに行きます。

	<p><動詞+「了」> が目的語を伴う場合、このような条件があれば文が終止できる。</p>	<p>(1)語気助詞の「了」を加える。</p>	<p>他写了信了。</p>	<p>彼は手紙を書きました。</p>
		<p>(2)目的語の前に数量フレーズなどの連体修飾語を置く。</p>	<p>他写了两封信。</p>	<p>彼は手紙を2通書きました。</p>
		<p>(3)動詞と目的語が離合動詞を形成するような固定化した結びつきで、さらに連用修飾語がある。</p>	<p>在大会上，我无比激动地带头发说了言。</p>	<p>大会において私はこの上なく感激率先して発言した。</p>
		<p>(4)目的語が固有名詞などの唯一のものと特定できるものである。</p>	<p>去图书馆的路上，我遇见了小张。</p>	<p>図書館に行く道で私は張さんにばったり会った。</p>
<p>②語気助詞の「了」</p>	<p>語気助詞の「了」は文末で用いられ、新状況の発生や変化を表す。</p>		<p>昨天下午你做什么了？</p>	<p>昨日の午後あなたは何をしたのですか。</p>
			<p>我看足球比赛了。</p>	<p>私はサッカーの試合を見ました。</p>
<p>③「了」と数量表現</p>	<p>(1)動詞+「了」+数量を表す語句</p>	<p>過去のある時点において、その数量に達したことを表す。</p>	<p>我学汉语学了两年。</p>	<p>私は中国語を2年間勉強しました。</p>
		<p>現在その数量に達したところだという現状報告になる。</p>	<p>我学汉语学了两年了。</p>	<p>私は中国語を2年間勉強しています。(今も勉強している)</p>
	<p>(2)動詞+「了」+数量を表す語句+「了」</p>	<p>現状報告のパターンの場合、現在まで行なってきた動作を今後も継続するかやめるかに関しては、いずれの可能性もある。</p>	<p>这本书我看了三天了，还得两天才能看完。</p>	<p>この本は私は3日間読んできたところだ。もうあと2日かければ読み終わることができる。</p>
			<p>这本书我看了三天了，不想看下去了。</p>	<p>この本は私は3日間読んできたところだが、もう読み続けたくなくなった。</p>
<p>④近接未来の表現</p>	<p>「もうじき～する」という「近い未来」を表すことができる。</p>	<p>“快要”</p>	<p>火车快要到站了。</p>	<p>汽車がもうすぐ駅に到着します。</p>
		<p>“快”</p>	<p>李老师快回国了。</p>	<p>李先生はもうすぐ帰国されます。</p>
		<p>“要”+～+“了”</p> <p>“就要”</p>	<p>电影要开始了，我们进去吧。</p>	<p>映画がもうすぐ始まります、入りましょう。</p>

		四年的大学生活就要结束了。	4年間の大学生活がもうすぐ終わります。
	時間を表す成分は“就要”の前にのみ置くことができる。“快要”“快”“要”の前には置けません。	我们下星期就要考试了。	私たちは来週にはもう試験があります。
	“~的时候”の中に入っているときは“了”は脱落します。	快到十一点的时候，他才回家。	もうすぐ11時になろうかというときになって彼はやっと家に帰った。

東京外国語大学言語モジュール

(<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/gmod/courses/c01/lesson12/>)

5. 研究論文による様々な見解

冯の論文⁶では、具体例を挙げて以下のように10種類の表現があり、「中国語の“了”」の用法も意味も多種多様で、使い方も極めて複雑である」と説明している。

冯が説明している10種類の用法のうち、一つは「le」ではなく、「liǎo」と発音し、可能の意味に用いる。

本稿では、冯の論文で説明した「le」と発音する9種類の用法を表でまとめることにした。

表5 「了」の用法について

		用 例	日本語訳		
1) 過去・完了を表す場合	過去の意味に用いる 「了」は、主として動詞（自動詞と他動詞）に使われる。	自動詞の例	昨天，小王来了。 去年，我去中国了。	昨日、王さんが来た。 去年、私は中国に行った。	
		他動詞の例	上星期，我看了一部中国电影。 小李今天上午打电话来了。	先週、私は中国の映画を一つ見た。 今日の午前、李さんから電話があった。	
	2) 変化を表す場合全体的に言うと、中国語の「了」は、過去と比べ、むしろ変化の意味に使われる場合が多い。	a) 述語が形容詞である場合	形容詞述語文に用いた 「了」は、完了ではなく変化を表し、過去と比べむしろ現在の状況を物語っている。	头发全都白了。 我以前比较瘦，现在胖了。 我们的生活越来越好。	髪の毛が真っ白になってしまった。 以前は、比較的痩せていたが、今は太った。 我々の生活は、ますます好くなってきている。

b) 述語が「有」である場合	「持っていない状態から持つ状態へ」、 或いは「いない状態からいる状態へ」と 変化してきたことを意味している。	我有中文辞典了。	私は中国語の辞書を持つようになった。
		我有自己的屋子了。	私は、自分の部屋を持つようになった。
		他有妹妹了。	彼に妹ができた。
c) 述語が「是」である場合	「了」は現在の状況を説明している	我以前是学生、现在是老师了。	私は、以前学生であったが、今は先生である。
		她现在是一个有孩子的母亲了。	彼女は、今子どもを持つ母親となった。
		他是教授了。	彼は、教授になった。
d) 「不」による否定文の場合	「不+動詞+了」という形式を取っているが、これと同様な使い方として「不+形容詞+了」という表現形式もある。	不吃了。	もう食べない。
		不去了。	行くのをやめた。
		不结婚了。	結婚をやめた。
e) 数量詞、時間・季節を表す用語が述語となる場合	「了」は過去ではなく、変化してきている現在の状況を説明している。	他今年7岁了。	彼は今年もう7歳である。
		现在两点了。	今はもう2時である。
		春天了。	もう春である。
f) 可能・許可を表す表現がある場合	変化したことを意味している。	这个孩子会走了。	この子は歩けるようになった。
		我能说一点中文了。	私は、すこし中国語が話せるようになった。
		可以进来了。	もう入ってもよろしい。
g) 変化の意味が内包されている動詞を述語とする場合	変化してきていることを表している。	我知道小李了。	李さんと知り合いになった。
		我懂了。	私は、分かった。
		我感觉出微妙的震动来了。	微妙な振動を感じ取った。

	h) 願望・心情など内的活動を表す表現(想、觉得、主张、愿意、赞成、希望)の場合		我的病好了, 想吃东西了。	私の病気がよくなって、ものを食べたくなった。
			这个孩子终于喜欢学习了。	この子は、ようやく勉強が好きになった。
			他愿意去旅行了。	彼は、旅行に行きたくなった。
3) ある動詞によってもたらされた状態が続く場合	「了」で継続状態を表している。		他现在睡了。	彼は今寝ている。
			下雨了。	雨が降っている。
4) 述語として使う場合			那件事总算了 (liǎo) 了 (le)。	あの事はようやく片づけた。
			她的儿子终于结婚了, 她总算了 (liǎo) 了 (le) 一件心事。	彼女の息子がやっと結婚した。彼女の心配事がやっと解決された
5) 命令を表す場合	今現在、当該動作を行っている最中の人に対する表現であることに注意する必要がある。		站好了!	きちんと立ちなさい!
			别说了!	もう話をやめて!
			不要笑了!	もう、笑うな!
6) 注意を促す時に使われる場合	相手に注意を促す		照了, 照了!	もう写真を取るよ!
			到点了, 吃饭了!	時間だ。もうご飯だよ!
7) 仮定を表す例	「了」は仮定を表し、日本語の「たら」と訳される。仮定に使う「了」は、多くの場合、「就」か「再」と呼応して使われる。		吃了饭就去。	ご飯を食べたら、すぐ行く。
			他来了我们再包饺子, 如果不来就不包了。	彼が来れば餃子を作るが、来なければ、餃子を止めよう。
			他的病好了, 我们就去旅行吧。	彼の病気がよくなったら、旅行に行こう。
8) 結果補語として使われる場合	結果補語として使う「了」は、多くの場合、「取ってしまう」意味に用いられる。		脱了鞋再进屋。	靴を脱いでから部屋に上がりなさい。
			小心别扔了有用的东西。	使えるものを捨てないように気を付けなさい。

9) 「了」を用いる慣用表現	A、程度を表すもの	a) 太～了 （“太……了”という慣用表現は、プラス意味よりもマイナス意味のほうに多く使われる。）	太热了。	熱すぎる。
			太坏了。	悪すぎる。
			太近了。	遠すぎる。
			太好了。	すばらしい。
			太棒了。	すばらしい
		b) 形容詞+“极了”（“～极了”という慣用表現は、プラス意味にもマイナス意味にも使える。いずれも、極地に達していることを表し、程度が極めて高いことを意味している。）	他的中文好极了。	彼の中国語は、すごくいい。
			香港的夏天热极了。	香港の夏は、すごく暑い。
			桂林的风景美极了。	桂林の風景はすごく美しい。
		c) “可”+形容詞+“了” （プラス表現にも、マイナス表現にも使え、どちらも程度の高いことを表している。）	那个人可好了。	あの人は、とてもいい人だ。
			那个工厂的厂长可坏了。	あの工場の工場長は、とても悪い奴だ。
			那儿的风景可美了。	あそこの風景は、とても美しい。
		d) 形容詞+“了点儿” （「形容詞+了点儿」という慣用表現がマイナス意味にしか使われない。）	东西好，可是贵了点儿。	品物はよいが、しかしちょっと高い。
			今天，玩儿得累了点儿。	今日は遊んでちょっと疲れた。
			老实了点儿。	彼は、ちょっとおとなしすぎる。
		B、時間を表すもの （未来の時間を表す）	a) 要～了	要放暑假了。
	b) 快～了		快开学了。	もうすぐ授業が始まる。
	c) 快要～了 （緊迫感がある）		汽车快要开了。	バスはもうすぐ出発だ。
	d) 就要～了 （緊迫感がある）		汽车就要开了。	バスはもうすぐ出発だ。
	e) 该～了		12点了，该吃饭了。	12時だ。もうご飯を食べる時間だ。

B、時間を表すもの (過去の時間を表す)	a) 已经～了	他已经回去了。	彼は、すでに帰った。
	b) 早就～了	小王的病早就好了。	王さんの病は、もうとっくに治った。
	c) 早～了	我早吃饭了。	私は、もうとっくにご飯を食べた。

冯富榮 (Furong Feng)、「中国語の“了”の用法探求」、『愛知淑徳大学論集』、第23号、1998、P.143-158

冯の論文では、中国語の「了」のそれぞれの用法について、具体例を挙げ説明した。日本人は中国語の「了」を学習する時、その過去・完了の用法を最初に習い、しかもそれを日本語の過去助動詞の「た」と連想しやすいため、「了」の過去・完了の用法を過大視しがちであると述べている。そのため、中国語を作文する際、過去文であれば、述語が何であろうと、大体「了」を入れたがるのである。従って、日本人に中国語の「了」を教える時に、最初の段階では、中国語の「了」は日本語の過去助動詞の「た」ではないことを断ることが非常に大切であること、と冯の論文で注意喚起をした。

また、方の論文⁷では、中国語の助詞「了」の使用に関する日本人学習者の犯しやすいミスに関するアンケートの集約と分析の結果から、日本人学習者は中国語の動態助詞「了」を日本語の助動詞「た」の役割と同一視しがちであり、また動作の完了(実現)を表すために「了」を用いる際、そのつける場所を違える状況が多く、さらにこの動態助詞「了」を、文末につけられる語気助詞「了」に混同しやすいといった問題点がよくあると指摘した。その誤用を減らすため、いくつかの教学要領を提起することにした。

第一に、中国語の「了」と日本語の「た」とは両者の文法機能が完全に一致しているわけではなく、特に中国語では動詞はテンスに関連する文法手段をもたず、「了」は過去を表すマークではないことを強調すること。

第二に、中国語において過去の動作に対しても、その動作が完了(実現)したことを強調する文では動態助詞「了」を用いるが、過去の習慣的、恒常的な動作をまたは経験を表すときや、過去の動作にかかわる時間、場所、手段などを説明するときなど、完了や実現を強調しない場合には、「了」を用いないことに注意を促すこと。

第三に、中国語で「了」を用いて動作の完了(実現)を表すときには、日本語の「た」と同様に動詞の直後につけるが、目的語に具体性がない場合には「動詞+“了”+目的語」といった構文は複合文における条件文としてしか成立せず、その直後にほかの言語成分による補充的説明が必要不可欠であることを強調すること。

第四に、助詞「了」は動態助詞として用いられる場合と語気助詞として用いられる場合があるが、両者の文法上の異なる役割が混同されないように学習者の注意を喚起すること。

表6 アンケートとその回答集計

	日本語	中国語訳文	誤用率
1	昨日私は辞書を3冊買った。	昨天我买了三本辞典。(正) 昨天我买三本辞典了。(誤)	3%
	私は今日彼女が作ったお弁当を食べた。	我今天吃了她做的盒饭。(正) 我今天吃她做的盒饭了。(誤)	5%
	私はご飯を食べた。	我吃(了)饭了。(正) 我吃了饭。(誤)	80%
	私はけさ新聞を読まなかった。	今天早上我没看报纸。(正) 今天早上我没看了报纸。(誤)	18%
2	明日私は昼ごはんを食べてから泳ぎに行く。	明天我吃了午饭去游泳。(正) 明天我吃午饭了去游泳。(誤)	17%
3	先月彼は中国にいた。	上个月他在中国。(正) 上个月他在中国了。(誤)	7%
4	彼は去年しょっちゅう来ていた。	他去年常常来。(正) 他去年常常来了。(誤)	45%
	私は若い頃タバコを吸った(ことがある)。	我年轻的时候抽过烟。(正) 我年轻的时候抽了烟。(誤)	50%
5	君はどこから入ってきたか。私は裏門から入ってきた。	你从哪儿进来的? 我从后门进来的。(正) 你从哪儿进来了? 我从后门进来了。(誤)	55%
6	去年私は上海で一ヶ月住んでいた。	去年我在上海住了一个月。(正) 去年我在上海住(了)一个月了。(誤)	15%
	彼は10数時間寝ている。	他睡了十几个小时了。(正) 他睡了十几个小时。(誤)	40%
7	彼女はお店に果物を買に行った。	她去商店买水果了。(正) 她去(了)商店买了水果。(誤)	82%
8	彼は知らないと言った。	他说(他)不知道。(正) 他说了(他)不知道。(誤)	62%

方曉娟 (2007)、「中国語の助詞「了」をめぐる教学——日本人の中国語学習者の使用ミスに関する分析を通して——」、『愛知大学 言語と文化 No.16』、P.137

(*注: このアンケート調査は一年以上の中国語学習歴がある日本人学習者 52 人を対象にして行ったもので、アンケートは助動詞「た」を用いた和文を中国語に翻訳させる方法で行った。)

6. 日本語の観点から「了」について考える

以上の研究からまとめると、助詞「了」の使い方として大きく分けると、動詞の後につく「了」(アスペクト助詞/動作態助詞)と文末に用いる「了」(語気助詞/文末助詞)の二つがある(「中国語初級段階学習指導ガイドライン」⁸の「文法項目表」によれば、「了」は「動作態助詞」と「文末助詞」区分される。)

アスペクト助詞の「了」と語気助詞の「了」の違いは以下のようにまとめることができる。

	意味	用いる場所	例文
アスペクト助詞「了」	動作の実現・完了	動詞(句)の直後	我吃了一个苹果。
語気助詞「了」	新状況の発生や変化	文末	我想吃苹果了。

6. 1 文中で完了・実現した動作を表すアスペクト助詞「了」

中国語の「了」は、日本語訳で過去の意味になる場合でも、「過去形」の用法とは言えない。「了」を使ったから、必ずしも過去を表すものであるとは限らないし、未来におけ

る実現・完了においても使用可能である。また過去であっても「了」を使用しないケースも非常に多い。

一つの文章を過去、現在、未来のどれかを見分ける方法として日本語では動詞の活用によって表現することができる。例えば食べるという動詞では、「食べた」、「食べました」、という活用形は過去を表し、「食べます」となると未来形になる。さらに「食べています」では、現在進行形になる。このように動詞を変化させることで日本語は時制を表しているが、では中国語はどうなるのだろうか？そもそも漢字で組み立てられる言語なので漢字そのものの字体を変えることはできない。時制を表す漢字を文中に付け加えることで時制を表すことができる。

馮の論文では「了」の用法として、最初に取り上げられたのは「過去・完了を表す場合」いくつかの例を挙げ、「過去の意味に用いる“了”は、主として動詞に使われる」としか説明しなかった。

例：我昨天吃了一个苹果。(Wǒ zuó tiān chī le yí gè píng guǒ)

<日本語訳>私は昨日一つのリンゴを食べた。

ここの「昨天」は過去を表しているので、この文章は「過去形」である。では、この例はどうだろうか。

例：我吃了一个苹果。(Wǒ chī le yí gè píng guǒ)

<日本語訳>私は一つのリンゴを食べた。

ここに「時制」のような用語「昨天」(=昨日)がないため、この文章も「過去形」ではないかと思われがちだが、ここで忘れてはならないのが「吃」という動詞の存在である。「了」を入れることによって、「吃」の動作を「実現」することができた、と表していることこそ中国語のアスペクト助詞「了」の文法になるのではなかろうか。

「動詞+了」が中国語文法では「完了」で統一されていたとしても、日本語にした時、「過去」にも「完了」にも訳すことができる。さらに、日本語の「た」はどちらの意味にもなることが可能であり、日本人にとっては混乱しやすい。

そこで、「了」の前後でヒントがないかを探してみたい。

例：我终于吃到了苹果。(Wǒ zhōng yú chī dào le píng guǒ)

<日本語訳>私はやっとリンゴを食べられた。

ここの「终于」は日本語の「やっと」の意味を表し、完了の「た」になる。また、過去だけでなく、未来の完了についても言える。

例：我吃了苹果就写作业。(Wǒ chī le píng guǒ jiù xiě zuò yè)

<日本語訳>リンゴを食べたら、宿題をやる(写=書く)。

ここの「吃」と「写」の動作はまだ実行されていないため、「吃了苹果」、「リンゴを食べた」の仮定として言っているわけであり、未来の完了を表す表現となる。

例：我写了作业再吃苹果。(Wǒ xiě le zuò yè zài chī píng guǒ)

<日本語訳>宿題を終わらせてから、リンゴを食べる。

これは「～してから」、「～したら、」を表す用法になり、ここの「就」、「再」という言葉がヒントとして隠れている。未来を表す「動詞+了」の後には「就」、「再」が入ることが多いので、日本語では「～たら、すぐに」と訳す。

間違った用法として、「我吃了苹果。」の場合は、目的語も状況もはっきりしない。これは正しい文ではありませんが、語気助詞「了」を入れると正しい文になる。「我吃了苹果了。」これは、語気助詞「了」を使うことにより、動作未完了から動作完了という変化を表している。また、この時、アスペクト助詞の「了」を省略することができ、「我吃了苹果了。」と「我吃苹果了。」どちらも正しい表現となる。また数量を入れることも可能である。

- × 我吃了苹果。
- 我吃了苹果了。
- 我吃苹果了。
- 我吃了一个苹果。

ここで注意する必要があるのは、「吃苹果了！」となると、一般的に「リンゴを食べた。」ではなく、これは、語気助詞「了」によって、「リンゴを食べよう！」(リンゴの準備ができて、リンゴが食べられるようになった)の意味になる。

語気助詞「了」は「新たな事態の発生・変化」を表し、日本語で変化表す言葉は：「～になる」、「～になった」と訳す。

6. 2 文末で変化を表す語気助詞「了」

変化を表す語気助詞「了」とは、文末に置いて、その状態になった、という変化を表す語気助詞である。主に①新しい状況の変化を伝える。②動作の継続を表現する。

①ある状況から変化し、新たな状況になることを表す。

「春天来了。」 Chūn tiān lái le

<日本語訳>春が来た。

それまで春ではなかったが「春」という季節になった、新しい状況への変化を伝えている。

「我想吃苹果了。」 Wǒ xiǎng chī píng guǒ le

<日本語訳>リンゴが食べたくなった。

「想吃」(食べたい)という状況になった、食べなくなった。

また名詞、形容詞の後にも置くことができる。名詞が「大学生」(大学生)、「老师」(先生)といった職業の場合には、「是」を追加する。

「我是老师了。」 Wǒ shì lǎo shī le

<日本語訳>私は先生になった。

「我是老师」は「私は先生です」、「了」は「～になった」、「私は先生になった。」という状況の変化を表す。

形容詞の後に置く場合、

「天气暖和了。」 tiān qì nuǎn huò le

<日本語訳>天気が暖かくなった。

中国語では「了」を使わずに「天气暖和」と述べた場合、日本語の「天気が暖かかった」との表現になるため、「了」を入れることによって、「～になった」、「天気が暖かくなった。」という変化を表す。

また、未来に状況の変化が発生しようとする時も、これから変化が訪れることを伝えるときにも「了」を使う。

「快要放暑假了。」 Kuài yào fàng shǔ jià le

<日本語訳>もうすぐ夏休みになる。

「快要～了=もうすぐ～になる」という意味で、未来に発生する変化について述べていて、「夏休み」という新しい状況の変化が起こることを表す。

②動作の継続を表現する。

度々取り上げられるのがこの例である。

「我学汉语学了两年了。」 Wǒ xué Hànyǔ xué le liǎng nián le

<日本語訳>私は中国語を2年間勉強している。

現在もその動作(勉強する)が継続している意味をもつことになる。文末に置かれた語気助詞の「了」は必ず現在という時点と関連を持つため、このような意味になる。

また、実現・完了のAspect助詞「了」と併用することもある。過去のある時点において、その数量に達したことを表す例として、

「我学汉语学了两年。」 Wǒ xué Hànyǔ xué le liǎng nián

<日本語訳>私は中国語を2年間勉強した。

今は勉強していない。現在はその状態が終了している。

東京外国語大学言語モジュールにおける解説には、これを「了」と数量表現のステップに区分されていた。

- ・動詞＋「了」＋数量を表す語句＋「了」 (学了两年了)
- ・動詞＋「了」＋数量を表す語句 (学了两年)

7. 終わりに

中国語を学び始めると頻繁に「了(le)」の単語を目にする。中国語の「了」には多くの用法があり、日本語とは違う感覚で使われている。「中国語検定試験」(主に日本語を母語とする中国語学習者を対象とする試験)の主催機関である「日本中国語検定協会」の機関誌『中国語の輪(わ)』にも「紛らわしい文法表現」として、「了」をシリーズで取り上げられた。

日本人をしばしば悩ませる「了」。永遠の課題ともいわれるほど奥が深い「了」の世界、代表的な2つの用法を考察した。本稿では日本語の視点からアプローチし、アスペクト助詞の「了」、「動作の実現・完了」を表す場合、「過去形」だけではなく「了」を付くことによって動作の「実現」を表すことになる。また「了」の前後にヒントを隠していないかを検討した。そこで見つけたのは未来を表す「動詞+了」の後には「就」、「再」(=「～たら」、「すぐに」)が入っていることが多い。語気助詞の「了」、「新状況の発生や変化」を表す場合、日本語で変化を表す言葉である「～になる」、「～になった」と訳すことが多く、日本語から考えると日本人にとって分かりやすいではなかろうか。

「了」に用いる慣用表現、または「了」をつけないパターンもたくさんある。それについての検討は今後の研究課題としたい。

参考・引用文献：

吕叔湘(1999)、《现代汉语八百词(增订本)》、北京:商务印书馆。

『现代汉语词典(第7版)』(2016)、中国社会科学院语言研究所词典编辑室编、北京:商务印书馆

百度汉语(Baidu 汉语)、

(<https://hanyu.baidu.com/zici/s?wd=%E4%BA%86&query=%E4%BA%86&srcid=28232&from=kg0>) 2022.9.30 アクセス

百度百科(Baidu 百科)、

(<https://baike.baidu.com/item/%E4%BA%86/341748?fr=aladdin>) 2022.9.30 アクセス

『中日大辞典(増訂第二版)』(1994) 愛知大学・中日大辞典編纂処編、大修館書店
冯富榮(Furong Feng)(1998)、「中国語の“了”の用法探求」、『愛知淑徳大学論集』、第23号

方曉娟(2007)、「中国語の助詞「了」をめぐる教学——日本人の中国語学習者の使用ミスに関する分析を通して——」、『愛知大学 言語と文化 No.16』

東京外国語大学言語モジュール

(<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/gmod/courses/c01/lesson12/>)

(財) 国際文化フォーラムの詳細な調査報告『いま高校の中国語教育を問い直す：外国語教育が直面する課題と提言』（1996年4月）（<https://www.tjf.or.jp/wp-content/uploads/2019/08/747b4be2a323bb796313ccbb25f91218.pdf>）2022.9.30 アクセス
独立行政法人 大学入試センター（<https://www.dnc.ac.jp/center/suii/index.html>）
2022.9.30 アクセス

「令和4年度 問題評価・分析委員会報告書（本試験）」、独立行政法人 大学入試センター、
（https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/kako_shiken_jouhou/r4/r4_jisshikekka/r4_hyouka_honshiken/r4_hyoukahoukokusho_honshiken.html）2022.9.30 アクセス

中国語教育学会 学力基準プロジェクト委員会、2007年3月、「中国語初級段階学習指導ガイドライン」、（<https://www.jacle.org/storage/guideline.pdf>）2022.9.30 アクセス

魯 曉琨（2022a）、「文末の“了a”と“了b”」、『中国語の環』、第120号、『中国語の環』編集室編、一般財団法人日本中国語検定協会

（https://www.chuken.gr.jp/study/wa/wa_120.pdf）2022.9.30 アクセス

魯 曉琨（2022b）、「文末の“了”と“V了”」、『中国語の環』、第121号、『中国語の環』編集室編、一般財団法人日本中国語検定協会（https://www.chuken.gr.jp/study/wa/wa_121.pdf）
2022.9.30 アクセス

注

¹ 独立行政法人 大学入試センター、（<https://www.dnc.ac.jp/center/suii/index.html>）、
2022.9.30 アクセス

² (財) 国際文化フォーラムの詳細な調査報告『いま高校の中国語教育を問い直す：外国語教育が直面する課題と提言』（1996年4月）（<https://www.tjf.or.jp/wp-content/uploads/2019/08/747b4be2a323bb796313ccbb25f91218.pdf>）

³ <https://hanyu.baidu.com/zici/s?wd=%E4%BA%86&query=%E4%BA%86&srcid=28232&from=kg0> 2022.9.30 アクセス

⁴ 著者訳

⁵ 著者訳

⁶ 冯富榮 (Furong Feng) 「中国語の“了”の用法探求」、愛知淑徳大学論集、第23号、1998、P.143-158

⁷ 方曉娟 (2007)、「中国語の助詞「了」をめぐる教学——日本人の中国語学習者の使用ミスに関する分析を通して——」、『愛知大学 言語と文化 No.16』、P.133-141

⁸ 「中国語初級段階学習指導ガイドライン」、<https://www.jacle.org/storage/guideline.pdf>

張 燕妹 (ちょう えんめい) 東京通信大学 指導補助者